

研究課題	梅雨期に黒潮上に発生する降水系に関する研究		
担当者	万田敦昌		
所属機関	三重大学大学院生物資源学研究科		
研究概要	2011年5月に東シナ海黒潮上で行った現地観測データの他、気象庁降水レーダー、気象庁メソ解析、熱帯降雨観測衛星などのデータを用いて、梅雨前線帯内に発生した2つのメソ対流系降水系の発生メカニズムについて調べた。梅雨前線帯上に発生したメソ低気圧に伴う下層ジェットによる南方からの暖湿気移流が、降水系の維持に大きく寄与していた。さらに下層ジェットが黒潮上の高海面水温領域を通過することで蒸発が強化され、これが南方から流入する暖湿気の不安程度を維持し、降水強化に寄与していることが示された。		
発表論文	番号	論文名	リンク先URL(クリックすると当該論文の関連ページにリンクします。)
	1	Sato, K., Manda, A, et al., 2016. Influence of the Kuroshio on Mesoscale Convective Systems in the Baiu Frontal Zone over the East China Sea. Monthly Weather Review, 144, 1017-1033.	<a href="http://journals.ametsoc.org/doi/abs/10.1175/MWR-D-15-0139.1">http://journals.ametsoc.org/doi/abs/10.1175/MWR-D-15-0139.1</a>
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		